

# 豊富な実績と高い信頼で社会に貢献 大型プロジェクトに 取組む建設会社

平川建設

平川建設(横浜市神奈川区菅田町、平川裕秋社長、045・471・0121)は、昭和34年に先代社長が重量鳶工事の請負業として平川組を設立、現在では主軸の鳶土工事だけでなく、建築工事、土木工事も行い、大手ゼネコンのパートナー企業として今日まで成長してきた。これまで、多くの高い技術力と施工管理能力が求められる大型プロジェクトに参画しており、

皆さんおなじみの横浜スタジアムやよみうりランドの木製ジェットコースター、みなとみらい地区開発、御殿場プレミアムアウトレックとも同社がかかわったプロジェクトの一つだ。

同社は企業理念として5大目標を掲げているが、その中心に「顧客第一」という目標を置き、それを実現するために「技術第一」、「品質第一」、「安全第一」、「人材第一」という4つの目標を大切にしている。そうした観点から、2000年にISO9001認証(品質保証)を取得しており、事実、大手ゼネコンの同社の技術に対する評価は高く、多くの技術賞を受賞している。昨年は同社の社員が、「優秀施工者国土交通大臣顕彰」を受賞した。同賞

は、優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成に貢献している建設技能者に対する顕彰であり、技術・品質・人材を大切にしている同社の経営姿勢が評価された結果といえよう。

また、人材育成を重視しているため、社員には、入社直後から毎月1つずつの資格取得を課すとともに、検定に向けての講習や勉強会を社内にて行っており、加えて、国家資格であるとはび技能士・施工管理技士については検定料を同社にて負担するなど、社員の能力向上のための積極的な支援を実施している。同社から現場に送り出される職人の技術の高さが、顧客からの信頼に結びついている。

「平川建設は来るべき新たな社会・新たな時代の扉を皆様と共に開きたいと願い、さらなる技術の創造に励み、高い信頼にお応えしてまいります」と平川社長は話す。高度な技術をもとに、建設事業によって地域社会を支える同社から今後も目が離せない。



同社の施工現場の一つである横浜三井ビルディング



同社の施工現場の様